

## 別紙1

## 会議記録

会議名称	北本市行政改革推進委員会（第4日目）
開会及び 閉会日時	令和元年9月5日（木） 午後2時から4時まで
開催場所	文化センター第2研修室
議長氏名	下垣彰
出席委員 氏 名	秋葉清 金綱幾代 白津吉英 諏訪千加子 本多英輔 和田博
欠席委員 氏 名	
説明者の 職 氏 名	財政課 矢ノ川直登主査
事務局職員 職 氏 名	財政課 関口智明課長 矢ノ川直登主査 戸塚千晶主任
会 議 次 第	1 開会 2 議事 (1) 事務事業の見直し • 土曜開庁事業 (2) 答申について 3 その他 4 閉会
配布資料	• 次第等 • 説明資料

事務局	<p>1 開会</p> <p>本委員会の開催については、本日全7名の委員全員の出席をいただきており、有効に開催されることを報告する。</p> <p>本日、傍聴の希望はないので、このまま議事に移る。</p> <p>規則第5条1項で、「委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。」となっている。本委員会については、委員長に進行をお願いする。</p>
委員長	<p>2 議事</p> <p>それでは、議事に移る。</p> <p>(1) 事務事業の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜開庁事業</li> </ul> <p>事業の概要、目的、効果等について担当課より説明をお願いする。</p>
	<事務局説明>
委員長	<p>それでは、質疑に移る。</p> <p>委員から質問はあるか。</p>
委員	振替休日はどのようにとっているのか。
担当課	土曜開庁は、午前中のみだが、振り替えるときは有給休暇も使って1日休みにしている例が多い。
委員	市民課の受付件数が多いが、時期的なものもあるのか。
担当課	<p>市民課は他に比べ年間を通して多い。特に3月、4月が多い。</p> <p>税務課は6月頃に課税証明発行、こども課は手当の関係など決まった時期に来庁者が多い業務がある。しかし、それ以外は少ない現状である。</p>
委員	受付業務が多い。受付だけであれば、収受箱などあれば、人がいなくてもできそう。
担当課	聞き取りや相談しながら対面での申請が必要なものの中にはある。
委員	働き方改革が言われている中で、職員が休日に出ればよいということではない。本当に必要な市民サービスを見極めなければならない。
委員	時間外勤務が多いが、土曜開庁をやることで少なからず影響していると考える。

委員	1人の職員が他の課の業務も一緒にやることはできないのか。そうすれば人数が減らせるのではないか。
担当課	現在のところ、そのように対応している課はないが検討の必要はある。
委員長	質疑を終わりにして、審査に移る。 委員の皆様の意見を伺う。
委員	今は普及していないが、マイナンバーカードがあれば簡単に証明書は発行できる。今すぐではないが、いずれは廃止の方向だと考える。
委員長	廃止を前提に、代替措置をしっかりと周知し、縮小していく方が良いと考える。 業務の効率化を進めるに当たっては、業務の質を維持することが前提である。市民サービスの質を落とすことなく、働き方改革を進めてもらいたい。
委員	繁忙期だけ臨時的に開庁する方法が効率的である。
委員	組織横断した総合受付窓口のようなものの設置も考えられる。
委員	市民課は実績から見てもニーズがあると思われる。
委員	開庁すれば市民サービスが向上するわけではない。それだけコストがかかっているのだから、そのコストを他のサービスに回した方が良い場合もある。
委員長	それでは、各自チェックシートに記入をし、意見まとめる。
	<チェックシート記入・回収>
委員長	それでは意見をまとめると、市民課においては当面継続とするが、コンビニ交付の普及を進め、段階的に縮小する。他の課にあっては廃止するが、受付のみできるような体制を検討すること。また、本当に市民が必要としている時期、ニーズを検証し、特定の時期のみ臨時で開庁するようとする。 よって、委員会の意見としては、今後の方向性は、「縮小」とするでよいか。
	【了解】

	では、土曜開庁事業についてを終わりにする。
委員長	(2) 答申について <これまでの意見の確認・精査>
事務局	<答申の作成方法の確認> 3 その他 4 閉会

議事のてん末・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。

令和元年12月5日 委員長 下垣 章

